

# 栄冠

## 第33回静岡県消防操法大会優勝



県消防学校（静岡市清水区）で9月11日に開催された第33回県消防操法大会において、本市消防団第四分団（牧之原区）と第五分団（勝間田区）で構成する合同チームが「ポンプ車操法の部」で見事、合併後初となる優勝を飾った。

第四・五分団は、全十チーム中三番目に登場。張り詰めた緊張感の中、最後のウォーミングアップを終えて本番へ。これまで支えてくれた多くの消防関係者が見守る中、競技を開始。櫻井指揮者の号令の下、選手たちは、心を一つにして正確な操法を披露。日ごろの訓練の成果を思う存分に発揮し、抜群のチームワークを見せた。

喜の表情で優勝旗とカップを手にした。村松二番員は、個人でも最優秀者賞を受賞。後日、市消防団は西原市長に優勝を報告。大石公洋団長は、「選手たちが支部大会から2年間訓練した成果。これからも市の安全・安心のために精進していきたい」と述べた。この優勝を励みに、市消防団は今後の活動に、より一層励み、これからも市民の安全・安心を守っていく。



1 水槽へ吸管を伸ばす加藤3番員。その姿には覇気がみなぎる。2 標的である火点に向かい、勢いよく放水する河原崎1番員。3 ポンプ車操法の全体の様子。水槽からポンプ車に水が送り込まれ、放水される。4 櫻井指揮者の号令により操法が開始される。各選手とも真剣な表情。5 併間の団員たちがじっと競技を見守る。6 全力疾走する村松2番員と加藤3番員。火災現場はスピードが大切であり、常に機敏な動作が求められる。7 放水終了後、後方から仲間たちの様子を見つめる大石補助員。8 小型ポンプ操法を披露する第10分団の選手たち。（写真左から、山崎指揮者、大池補助員、鈴木1番員、小塚3番員、松下2番員）日ごろの訓練の成果を存分に発揮した。9 市長に優勝を報告する第4・5分団の選手たち。競技時の真剣な表情から一転、晴れやかな笑顔を見せる。



4番員  
鈴木健悟（第4分団）  
KENGO SUZUKI



2番員  
村松崇敏（第5分団）  
TAKATOSHI MURAMATSU



指揮者  
櫻井隆光（第5分団）  
TAKAMITSU SAKURAI



補助員  
大石悠介（第5分団）  
YUUSUKE OOSHII



3番員  
加藤達実（第5分団）  
TATSUMI KATOU



1番員  
河原崎幸祐（第4分団）  
KOUSUKE KAWAHARASAKI

「みんなと素晴らしい結果が出せた。今後も活動を頑張りたい」

### 優勝選手紹介 & インタビュー

—ポンプ車操法の部—

牧之原市消防団  
第4・5分団  
合同チーム



「この仲間と優勝できうれしい」

「代理出場で不安だったが、みんなの協力があって良かった」

「選手以外の人にも感謝したい」